

第1回 産学官学際研究シンポジウム 実施報告

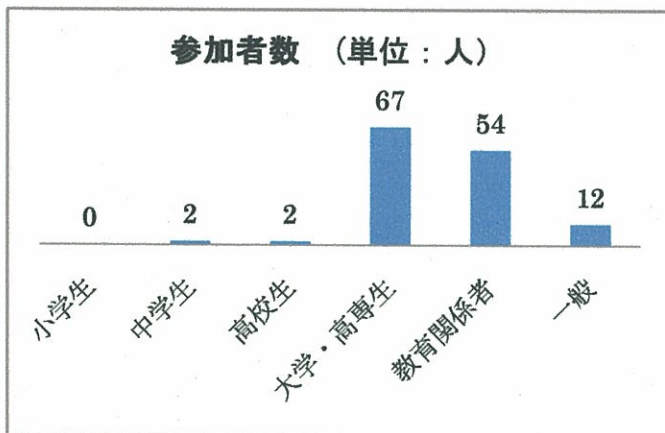
行事名	第1回 産学官学際研究シンポジウム		
担当部門	先進科学教育部門		
開催日時	平成21年3月7日(土) 10:00~12:00	会場	岡山大学 創立50周年記念館

《概要》

岡山の産業界から2名、県の研究機関より1名講師を招き、下記の内容で講演とそれに対する質疑応答を行った。

- 株式会社 林原生物化学研究所 主任研究員 渋谷 孝 氏
講演題目：「オンリーワン ナンバーワンを目指せ」
- 株式会社 クラレ くらしき研究所長 古宮 行淳 氏
講演題目：「化学素材メーカークラレの技術と研究開発」
- 岡山県工業技術センター 機械系技術部 部長 西田 典秀 氏
講演題目：「“マイクロものづくり”－地域連携による新技術・新製品への挑戦－」

《参加者》

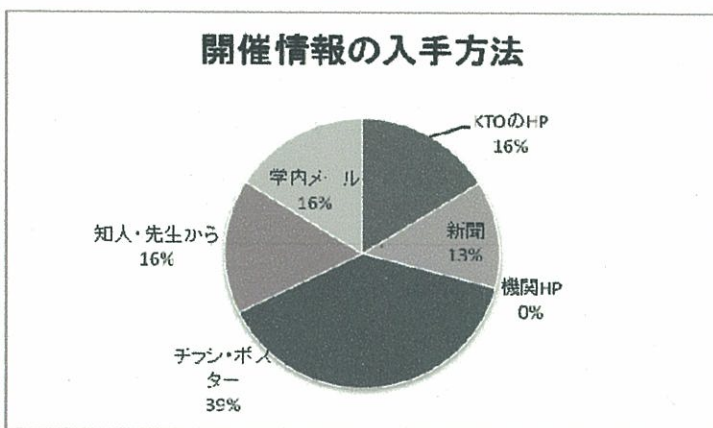


参加者合計：137名
(学生 69名、教育関係者 54名、一般 12名)

そのうち22%に当たる31人からアンケートの回答を得る。

《報告事項》シンポジウム終了後に回収したアンケート集計結果を下記に示す。

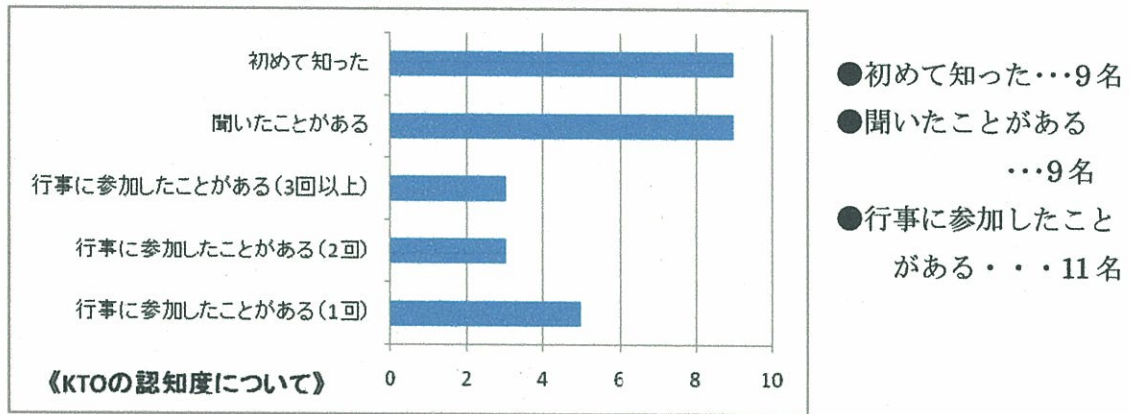
1. 「第1回産学官学際研究シンポジウム」開催情報の入手方法について



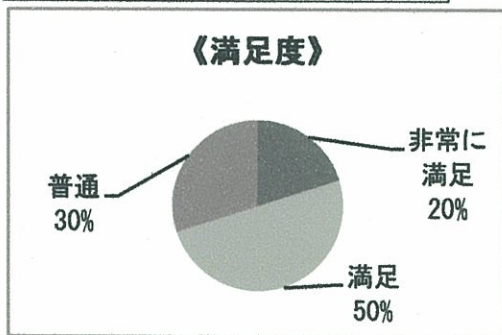
チラシ・ポスターを見て来場した参加者が、全体の約4割を占めた。

また、「科学Tryアングル岡山」のホームページから行事を知った参加者の割合も、人伝てに聞いたという項目と同率の16%であった。

2. 「科学 Try アングル岡山」の認知度について (グラフの単位：人)



3. シンポジウムの満足度について



7割が「満足・非常に満足」と回答し、「不満・やや不満」の回答は無かった。

4. 感想・意見など

○【科学 Try アングル岡山への要望等】

- ・「科学 Try アングル岡山」の目的等をもう少し具体的に説明して欲しかった。(教育関係者)
- ・県内で開催される理科、科学関係の行事と同時開催してはどうか。(教育関係者)

◎【講演についての要望等】

- ・テーマと内容が整合していなかったが、内容そのものは良かった。大学生を多数参加させるようにすべき。(教育関係者)
- ・産学官連携がうまくいっている例を企業側から提示して欲しかった。企業関係者の参加も欲しい。(教育関係者)
- ・科学に関するものは、歴史や考古学に比べ、新聞等の広報が少ない。(一般)
- ・パワーポイントのコピーを配布して欲しかった。(教育関係者)
- ・産学官の協同研究、現在どのような研究を行っているか公開してはどうか。(一般)
- ・高校教育に役立つ内容を数多く取り上げて欲しい。(教育関係者)

○【講演についての感想】

- ・将来のためになった。(高校生)
- ・初めて知った内容が多かった。(高校生)

- ・ 企業の内容紹介に興味を持った。専門用語（例えば「トレハロース」）の説明がもう少し欲しい。（教育関係者）
- ・ 県内のすばらしい企業の研究者の話、楽しかった。（一般）
- ・ 将来の科学技術・ものづくりを担う若者・子どもたちに熱い思いを伝えて欲しい。（教育関係者）
- ・ 貴重な体験ができた。（中学生）
- ・ 普段聞くことのできない貴重な話が聞けて良かった。（中学生）
- ・ 研究のすばらしさが実感できた。（教育関係者）
- ・ 企業の方のメッセージが伝わった。若い人からの意見、質問が出るよう工夫が要る。司会・運営を若い人に任せるなど。（一般）
- ・ 就職活動中、会社説明会では聞けない専門的内容が聞けた。（学生）
- ・ 分かり易いテーマ、啓発的内容で良かった。（一般）
- ・ 企業などの物づくりの考え方が聞けて良かった。今後の活動に期待する。
- ・ 企業の先端技術に触れられて、有意義であった。（教育関係者）
- ・ 岡山での優れた科学研究・企業活動の成果の話、興味深かった。（教育関係者）
- ・ 理科離れが進む日本では、物づくり人材育成が重要課題。今後の活動に期待する。（教育関係者）



《林原生物化学研究所 渋谷氏の
講演の様様》